

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公表番号】特表2007-506831(P2007-506831A)

【公表日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2006-527421(P2006-527421)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/12	(2006.01)
C 0 8 K 3/00	(2006.01)
C 1 0 M 143/12	(2006.01)
C 1 0 M 145/14	(2006.01)
C 1 0 M 147/00	(2006.01)
C 1 0 M 149/08	(2006.01)
C 1 0 M 145/08	(2006.01)
C 1 0 M 149/14	(2006.01)
C 1 0 M 155/02	(2006.01)
C 1 0 M 159/02	(2006.01)
C 1 0 M 127/04	(2006.01)
C 1 0 M 145/24	(2006.01)
C 1 0 M 159/04	(2006.01)
C 1 0 M 137/04	(2006.01)
C 1 0 M 129/68	(2006.01)
C 1 0 N 20/00	(2006.01)
C 1 0 N 20/02	(2006.01)
C 1 0 N 20/06	(2006.01)
C 1 0 N 30/02	(2006.01)
C 1 0 N 50/10	(2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/12	
C 0 8 K 3/00	
C 1 0 M 143/12	
C 1 0 M 145/14	
C 1 0 M 147/00	
C 1 0 M 149/08	
C 1 0 M 145/08	
C 1 0 M 149/14	
C 1 0 M 155/02	
C 1 0 M 159/02	
C 1 0 M 127/04	
C 1 0 M 145/24	
C 1 0 M 159/04	
C 1 0 M 137/04	
C 1 0 M 129/68	
C 1 0 N 20:00	A
C 1 0 N 20:02	
C 1 0 N 20:06	Z
C 1 0 N 30:02	
C 1 0 N 50:10	

【誤訳訂正書】**【提出日】**平成22年4月2日(2010.4.2)**【誤訳訂正1】****【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0048**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0048】**

本発明による組成物の調製に用いることができるミクロゲルは、特に表面に反応性基を実質的に含まない未修飾ミクロゲルと、特に表面において官能基により修飾されたミクロゲルとの両方を用いることができる。後者のミクロゲルは、既に架橋したミクロゲルとC=C二重結合に対して反応性である化学物質との化学反応により調製することができる。これらの反応性化学物質は、特に、例えば、アルデヒド、ヒドロキシル、カルボキシル、ニトリル等の極性基、また、例えば、メルカプト、ジチオカルバメート、ポリスルフィド、キサントゲネート、チオベンズチアゾールおよび／またはジチオリン酸基といった硫黄含有基、および／または不飽和ジカルボン酸基によりミクロゲルに化学的に結合することができる化合物である。これは、N,N'-m-フェニレンジアミンについても当てはまる。ミクロゲルを修飾する目的は、調製中の良好な分布能力ならびに良好なカップリングを達成するために、本発明による組成物をミクロゲル混入後のマトリックスの調製に用いる場合、または本発明による組成物をマトリックスへの混入のために用いる場合に、ミクロゲルの適合性を改善することである。